

## 自宅学修中の課題

### ■「考古学演習」担当: 會田先生

#### 第 1 回: 笹山原遺跡 1 6 の調査計画

発掘調査を 2 回経験している専攻科 2 年生には 2019 年に実施した発掘調査をパワーポイントと『地域創成学科報告集』第 1 集に掲載した「2019 年度考古学実習報告」を参考にして、2020 年の発掘計画を作成する。この課題を文章と図で示し、パワーポイントで提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### 第 2 回: 笹山原遺跡 1 6 の調査計画

前回提出されたパワーポイントに赤を入れたり、疑問点を書き込んだものを返却し、再度調査計画を提出してもらう。特に 2 回目の再提出では独自の問題設定と、発掘調査による解決方法を提示してもらう。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### 第 3 回: 調査準備の実際

発掘調査で用いる機材写真を与え、その機材をどのように用いるのかを具体的な計画をパワーポイントで作成する。完成したものを提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

### ■「日本宗教の歴史と文化」担当: 福島(何)先生

『日本宗教史』(岩波新書、末木文美士著)の第 2 章を読み、その内容を A4 サイズ用紙 3 枚に纏め、登校後提出すること。

評価のポイント: きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

### ■「日本古代の歴史と文化」担当: 會田先生

#### 第 1 回: 日本考古学・日本歴史学の時代区分

奈良文化財研究所編『日本の考古学』上下をテキストとして用いる。購読の範囲を PDF データとして貼り付けておく。その中で説明の必要な用語を指摘し、課題とする。用語説明と要約を課題とする。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### 第 2 回: 日本列島の形成史

説明の必要な用語を指摘し、課題とする。用語説明と要約を課題とする。笹山原遺跡との関連部分を指摘すること。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### 第 3 回: 旧石器時代概説

説明の必要な用語を指摘し、課題とする。用語説明と要約を課題とする。笹山原遺跡から明らかになった事実と相違する点、新たに知られた点を示す。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

## ■「西洋美学史」担当:齋藤(美)先生

シラバス3回分の課題を出します。高校時代の「倫理社会」の教科書やネット検索を利用して、自学自習しなさい。登校後に、報告してもらいます。論理的な説明になっているか否かで評価します。

1. ギリシアの三大哲学者について
2. アイデア論について
3. カタルシスについて

## ■「中国文化史演習」担当:渡部先生

1、「唐代伝奇小説」、及び蒲松齡『聊齋志異』について調べなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

2、中島敦「山月記」を読みなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

※文庫本を入手して読むか、或いはインターネットの青空文庫でもひとまずは許容する。

3、芥川龍之介「杜子春」を読みなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

※同上。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

## ■「日本文化史演習」担当:佐藤先生

システムめばえの授業支援 moca にて史料を配信しますので、その史料の読解およびその史料が作成された時代背景をまとめてください。

なお、参考にした図書・資料・HPなど(いわゆる出典)は本文の最後に必ずのせること。(登校時提出)

## ■「日本宗教史演習」担当:福島(何)先生

道元に関する岩田慶治の研究書を一冊選び、その内容を A4 サイズ用紙 3 枚に纏め、登校後提出すること。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。道元に関する岩田慶治の研究書を一冊選び、その内容を要約すること。登校後、報告してもらいます。

## ■「西洋文化史演習」担当:桑野先生

テキスト(高橋裕子『イギリス美術』岩波新書 1998年)を購入し、第1章「知られざるイギリス美術」を読み、感想を A4 版 1 枚にまとめてください。(授業時提出の予定)

## ■「文化史総合演習」

研究:宗教文化 担当:福島先生

道元に関する岩田慶治の研究書を一冊選び、その内容を A4 サイズ用紙 3 枚に纏め、登校後提出すること。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

### **研究:考古学 担当:會田先生**

#### **第 1 回:笹山原遺跡の旧石器時代の研究**

笹山原遺跡 No.16 の第 1 石器集中パワーポイントと資格課程報告集を読みまとめる。まとめた結果をレポートにして提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### **第 2 回:笹山原遺跡の旧石器時代の研究**

笹山原遺跡 No.16 の第 2 石器集中のパワーポイントし資格課程報告集及び論文を読み、まとめる。まとめた結果をレポートにして提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

#### **第 3 回:笹山原遺跡の旧石器時代の研究**

笹山原遺跡 No.16 の第 3 石器集中のパワーポイントし資格課程報告集及び論文を読み、まとめる。まとめた結果をレポートにして提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

### **研究:美学・美術史 担当:齋藤先生**

指示した参考文献を読み込んで、各自の研究を進めておくこと。登校時にパワーポイントを使って報告すること。評価の基準は、論理的な思考ができているかどうかです。

### **研究:西洋史 担当:桑野先生**

- ① 2月の専攻科中間発表の内容を研究レポートの「はじめに」ないし「第1章」の一部として文章化しておく。
- ② 「ジョン王に関する研究」の参考文献を読み、要約しておく。
- ③ 『中世英仏関係史 1066～1500－ノルマン征服から百年戦争終結まで』創元社 2012年、の該当部分を読み、要約しておく。  
文章は登校時に提出し、評価を受けること。